

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
書道	書道Ⅱ	2	2 年 普通科

科目 概要 と 目標	書道の創造的な幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。		
教科書・副教材		書道Ⅱ（東京書籍）	
評価 の 観 点	書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	
	書表現の構想と工夫	書表現の書要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	
	創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	
	鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさを創造的に味わっている。	
評価 の 方 法	・ 各時毎に作品を提出させ、評価を行う。 ・ 作品のレベルだけでなく、どの程度上達したかを評価する。 ・ 授業中の態度、作品の提出率を評価対象とする。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度） b（構想と工夫） c（表現の技能） d（鑑賞の能力）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4月	自分を拓く	・様々な表現や分野があることを理解する。 ・用筆の基本を理解する。	○	○	○	
5月	文字の造形を 探る	・書体の変遷と芸術について学ぶ。 ・甲骨文字、金文、篆書、隸書、楷書の各書体の	○			○
6月	1,構成美の 研究	特徴を理解し、それに応じた表現を工夫している。 ・篆刻作品を鑑賞し、その特徴を理解して臨書作品を作成する。	○	○	○	○
7月	下野教育書 道展出展 作品作成	・これまでの技術を自分の表現意図をもって作品で表現する。	○	○	○	
8月	2,流動美の 研究	・草書の美しさを感じ取り、特徴を理解しながら作品に表現することができる。	○	○	○	○
10月	行書による 学習	・行書作品の端正さや形の特徴を感じ取り、自分なりの表現をする。 ・行書作品の規模の大きさやバランス、線の使い分けの特徴を考えながら作品を作ることができる。	○	○	○	○
12月	仮名 書初展作品 作成	・優美な仮名の流れを理解し、字形と流れの整った形の書を学び、特徴を理解しながら作品に表す。 ・これまでの技術を自分の意図をもって作品に表現する。	○	○	○	
1月	硬筆の学習	・日常で使用する書類の様式や描き方及び養護について硬筆での字形や筆順を学び、表現する。	○	○	○	○
2月						
3月						

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
書道	書道 I	2	1 年 普通科 水産科

科目 概要 と 目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。	
教科書・副教材	書道 I（東京書籍）	
評価 の 観 点	書への関心・意欲・態度	・書の創造的活動の喜びを味わう。 ・書の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
	書表現の構想と工夫	・書表現の書要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
	創造的な書表現の技能	・創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。
	鑑賞の能力	・文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさを創造的に味わっている。
評価 の 方 法	・各時ごとに作品を提出し、評価を行う。 ・作品のレベルだけでなく、どの程度上達したかを評価する。 ・授業中の態度、作品の提出率を評価対象とする。	

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度）b（思考・判断・表現）c（技能）d（知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4月	書の美	・用筆の基本、書写と書道の関係や分野について理解し、自分の用筆に反映させる。	○	○	○	
5月	漢字の書 [楷書]	・楷書の作品について筆者と作風について学ぶ。 ・臨書と楷書によるそれぞれの作風の特徴を理解し、基本的用筆を学ぶ。	○		○	○
6月	漢字仮名 交じりの書	・さまざまな線で漢字と仮名の調和を試みる。 ・用具、用材によって表現の幅が広がることを理解する。	○	○	○	○
7月	下野教育 書道展 作品作成	・これまでの技術を遣い、自分なりの作品を理解する。	○	○	○	
8月 9月	漢字の書 [行書]	・作者と作品の歴史的・書的・文化的価値を学ぶ。 ・臨書や鑑賞を通して行書の特徴を理解し幅広い技法を身につける。	○	○	○	○
10月 11月	作品制作 (自主制作)	・これまで学習してきた書体や技法を駆使して自分の好きな文字や言葉を作品に仕上げる。	○	○	○	
12月	書初店出展 作品作成	・これまで学習してきた技術を駆使して自分なりの作品を作成する。	○	○	○	○
1月 2月 3月	仮名の書	・仮名の成立を理解し、仮名の美しさについて考える。 ・仮名の基本的な用筆を理解し、字源を確認しながら単体を身につける。 ・仮名の連綿・変態仮名について理解と技術の習熟を図る。 ・連綿の学習、鑑賞、臨書を通して仮名の美しさを理解する。	○		○	○